



参考資料

VMware NSX™ Software-Defined Data Center のネットワーキングと セキュリティの運用を変革

概要

2014 年 8 月 26 日、VMware は、Software-Defined Data Center を実現するための業界で最も包括的なネットワーク仮想化プラットフォームである VMware NSX™ 6.1 と、さまざまなパートナーソリューションの提供開始を発表しました。VMware NSX はアプリケーションのプロビジョニングを数カ月から数分に短縮し、データセンターのセキュリティアーキテクチャの重要課題に対応するなどの特長を備えており、その採用は引き続き加速しています。VMware NSX は、データセンターのインフラに直接組み込まれたセキュリティを実現し、パートナーが提供する先進的なサービスを追加して脅威からの保護をさらに強化できるほか、リスクの軽減や Software-Defined Data Center に必要とされるコンプライアンス要件の確保を実現します。VMware NSX は、これらの特長を通じて、ネットワークの革新をリードするだけでなく、これまでにない経済的にも運用的にも現実的な方法で、データセンターのセキュリティを向上します。

発表内容

- Software-Defined Data Center およびハイブリッドクラウド向けにセキュリティ、拡張性、パフォーマンスをさらに強化した VMware NSX 6.1 を発表しました。
- VMware NSX は現在 150 以上の顧客に採用され、年間売上予測は 1 億米ドルを超える見通しです。
- VMware NSX の顧客には、米国の金融機関トップ 4 社のほか、大手の公共／民間企業、世界最大規模のサービスプロバイダが含まれます。
- VMware NSX を VMware のリセラーを通じて提供を開始するとともに、2014 年末までにトレーニングを修了した NSX 販売パートナーは 100 社以上に拡大する見込みです。
- 14 社の VMware NSX のエコシステムパートナーが、2014 年第 3 四半期中（7～9 月）に VMware NSX との相互運用が可能な製品群の提供を開始する予定です。
- 新設した VMware Certified Design Expert Network Virtualization (VCDX-NV) 認定資格の、最初の認定取得者 38 人を発表しました。VCDX は VMware が提供する最上位の認定資格であり、ネットワーク仮想化のコンピテンシーも新たに追加されました。

- ネットワークおよび IT システムのプロフェッショナルのキャリア形成をサポートする、VMware NSX の包括的なトレーニングコース「VMware NSX: Install, Configure, Manage」の提供スケジュールを発表しました。

トレーニングコースの詳細は下記 URL をご覧ください。(英語)

http://mylearn.vmware.com/mgrreg/courses.cfm?ui=www_edu&a=one&id_subject=54991

トレーニングコースのスケジュールは下記 URL をご覧ください。(英語)

http://mylearn.vmware.com/portals/www/search/results.cfm?ui=www_edu&menu=search%20results&searchtype=simple&category=schedule&id_subject=54990&filters=&autofilters=countryID

なお、日本国内でも 2014 年第 3 四半期（7～9 月）に本トレーニングを提供開始予定です。

マイクロ セグメンテーション機能により、データセンター のセキュリティを再定義

現代のサイバー攻撃は、多くのデータセンターで採用されているネットワーク境界での防御を図るセキュリティ戦略を悪用し、まず認証ユーザになりすましてデータセンターに侵入した後、データセンター内のワークロード間を移動するため、ウイルスの拡散を防ぐことができません。ネットワークのマイクロ セグメンテーションは、権限のないワークロード間の移動を制御／防御できますが、現実的に実行することが難しいという難点がありました。そして、従来のファイアウォールによるマイクロ セグメンテーションでは、ネットワークのスループットを低下させ、運用や変更管理の負荷が増大するという課題もありました。スループット低下の課題は、物理／仮想ファイアウォールへの投資を大幅に増やすことで克服できますが、運用負荷はワークロードの増加に伴って拡大し、ワークロード配置も大幅に変更しなければなりません。VMware NSX は、自動プロビジョニング機能、ワークロードの自動的な移動／追加／変更、すべての仮想インターフェイスでのポリシーの分散適用、ハイパーバイザー／プラットフォームに統合されたスケール アウト可能なカーネル組み込み型ファイアウォールなど、従来のネットワーク セキュリティにはない先進的な機能を備えています。

VMware NSX 6.1 : ハイブリッド クラウドのためのセキュリティ、拡張性、パフォーマンスを実現

本日発表した VMware NSX の最新リリースでは、データセンターのセキュリティ、拡張性、パフォーマンスの向上を実現しています。VMware NSX 6.1 の詳細は以下の通りです。

- 先進的なネットワーク マイクロセグメンテーション機能

NSX Distributed Firewall および NSX Edge Firewall を通じて、プロビジョニング、トラブルシューティング、モニタリングのマイクロ セグメンテーション機能をさらに強化しました。NSX のセキュリティ機能へのトラフィック リダイレクションのプロビジョニングもさらに簡素化しています。

- ハイブリッド クラウドとの相互接続性

レイヤ 2 の VPN サービスにより、複数のデータセンターにわたるワークロードの移行、データセンターの統合、アプリケーション層の拡張が可能になります。サービス プロバイダは、顧客

がオンプレミス環境に **NSX** を導入していなくても、データセンター間にわたって展開されるテナント アプリケーション ネットワークを通じて、顧客にテナント環境やクラウド バースティングなどのサービスをより簡単に提供できます。

- **等コストマルチパス (ECMP) ルーティング**

NSX Edge に搭載された **ECMP** により、大規模クラウド ネットワークに必要とされるノース/サウスのトラフィックの帯域要件に対応します。**VMware NSX** では可用性に優れた分散型の **NSX Edge** クラスターの構築が可能になるため、ネットワーク仮想化のエッジにおける、物理ネットワークとの高帯域幅アップリンク接続や、アクティブ・アクティブ構成の冗長性の確保をソフトウェアだけで実現できます。

- **vCloud Automation Center 6.1 との連携**

この連携は、動的に作成されたアプリケーションを事前に作成した **VMware NSX** の論理ルータに接続することを可能にし、**VMware NSX** のリソースを活用しやすくするとともに拡張を容易にします。また、デフォルトでアプリケーションを隔離しておき、事前に承認されたセキュリティポリシーを適用することを可能にします。また、セキュリティの自動化ワークフロー機能をコンピューティング自動化機能と統合することが可能です。

業界最高クラスのネットワーク仮想化エキスパート認証資格

VMware Certified Design Expert (VCDX) は、**VMware** の最上位の認定資格です。**VCDX** の認定資格者は、**VMware** ソリューションの設計と実装における信頼性の高いスキルを保持していることが証明されます。**VMware** は、新設された **VCDX-NV** 認定資格の最初の認定パートナー **38** 人を発表しました。

VCDX-NV は、**VMware NSX** を基盤とする信頼性の高いネットワークング スキル、およびネットワーク仮想化スキルを有するプロフェッショナルに与えられる資格です。**VCDX-NV** を取得することにより、**VMware vSphere®**および **VMware NSX** の最も高度な設計スキルを有していることが証明されます。今回認定パートナーとなった **38** 人は、いずれも **5** 日間の厳しいトレーニング プログラムの後、ネットワーク仮想化設計に関するプレゼンテーションを修了しています。

VMware、**VMware vSphere**、**VMware NSX** は、**VMware, Inc.**の米国および各国での商標または登録商標です。他のすべての名称ならびに商標は、それぞれの企業の商標または登録商標です。